

氏名： 三浦 徹 (MIURA Toru)
所属：
学位： 文学修士 (1986 東京大学)
職名： 理事・副学長
専門分野： 歴史学 (特にアラブ・イスラム史)、都市研究、中東地域研究
E-mail： miura.toru@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

都市／中東／比較／契約／寄進
city / Middle East / comparative study / contract / donation

◆主要業績

総数 (1) 件

- ・『『日本における中東・イスラーム研究文献目録』とデータベース』『アジ研ワールド・トレンド』第150号、pp.28-31、2008年3月

◆研究内容 / Research Pursuits

1. 人間文化研究機構プログラム「イスラーム地域研究」東洋文庫拠点「イスラーム地域研究史資料の収集・利用の促進とイスラーム史資料学の開拓」の拠点代表者として、研究事業の総括を行った。
2. 科研費基盤研究「歴史的アーカイブズの多国間比較に関する研究」の分担者として、パリ国際シンポジウム「アーカイブズ、権力、社会」(07年6月)、および東京国際シンポジウム「近世アーカイブズの多国間比較」において、総合討論の議長をつとめ、全体の集約を行った。
3. 国際教育協力イニシアティブ「開発途上国における女子教育

◆教育内容 / Educational Pursuits

1. 文教育学部比較歴史学コースおよびグローバル文化学環の3－4年生を対象とする演習（ゼミ）において、『イスラーム地域研究叢書』（東京大学出版会、全8巻）をテキストとして、3年生12名の発表とその後の討論を通して、「中東から現代世界をみる」をキャッチフレーズに、政治・経済・宗教・文化の諸問題にわたる越境的な理解が深まった。
2. 「グローバル・ヒストリー」では、History of Worldsをテキストとし、古代から現代まで12本の論考を講読した。毎回のテキストの理解の鍵となる「質問箱」を配付し、授業ではこれについての質疑を通じて、内容を理解し議論する方式をとった。現代世界の成り立ちとその問題について、マクロな理解がえられた。
3. 「文理融合リベラルアーツ」科目群の設計にあたり、教養教育における専門分野の接点について、調査研究を行った。

◆研究計画

地域と歴史についての理解には、比較研究が必要であるが、個々の研究者個人ができる範囲は限られており、共同研究が必須となる。これまで、「都市」「契約・裁判」などをキーワードに共同研究を進めてきた。近年は、史資料のあり方（書式・保存・管理）自体に当該地域の社会システムが映されているというアーカイブズ学の比較研究の方法（外形的な比較）にも関心ももっている。また、アンケート調査などによる統計的社会分析の方法や理論を歴史研究に応用することにより、横断的な歴史社会の比較ができないかと考えている。

◆メッセージ

「お茶生は質が良い」と外部の講師の方がよく言います。内に秘めた力は、たしかに高いものがあります。印象的なのは、毎回の授業終了時に提出する「コメント」です。限られた分量と時間にも関わらず、的確な質問や感想や意見が書かれていて、誤字脱字の少なさとともに、その精度に舌をまきます。授業中でもドンドン手があがるようになるというのですが。伸び伸びと学べる場所にしたい、と念じています。